

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2016/9/6		
所属学部	法経学部		
所属学科・専攻	総合政策学科		

1. 留学先について

留学先大学名	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校			
留学先所属学部等	文理学部			
留学期間	出発日 2015/8/26	入学日 2015/9/2	修了日 2016/7/2	帰国日 2016/7/7
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート		<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()
	通学時間	徒歩3分程		<input checked="" type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()		
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊 0 %	学食 80 %	外食 20 %	その他 () * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	OSSMAセット型留学保険		
	大学指定の保険(名称)	Blanket Student Accident & Sickness Plan For International Students Attending		<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)			
	成田 ⇄	シカゴ	⇄	ウィスコンシン(大学のピックアップサービス)

2. 留学にかかった費用について

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="checkbox"/> 現金	円	<input checked="" type="checkbox"/> その他(キャッシュパスポート)	5~6万	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (キャッシュパスポート)

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	渡航前引き落とし分はクレジットカード、渡航後引き落とし分はキャッシュパスポート
住居にかかった費用	渡航前引き落とし分はクレジットカード、渡航後引き落とし分はキャッシュパスポート
その他	

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無	
1 Introduction to International Relations	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
2 Race, Ethnicity and Politics	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3 Basic Skills in Academic Listening & Speaking	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4 Bowling	正規	1	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
5 Weight Training	正規	1	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
6 Table Tennis	正規	1	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
7 Introduction to Global Studies III	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
8 Economic Growth and Sustainable Development in Africa	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
9 Introduction to Conflict Resolution and Peace	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
10 Advanced Reading, Writing and Grammar Tune-up for Intern	正規	4	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
11 International Organization and the United Nations	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
12 Seminar in International Relations	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

授業の登録はPAWSという大学のサイトで行います。授業の登録や申請、変更、また授業料や寮費などの支払いもここで行います。千葉大と異なり、かなり早い時期(学期が始まる2、3か月前)に授業登録期間が始まり、人気の授業は直ぐに埋まってしまうこともあるので早めに登録する必要があります。特に秋学期の授業は日本にいる間に登録しないとイケないので注意が必要です。授業によっては、特にレベルの高い授業などはprerequisiteというその授業の基礎に当たる授業をとっていないとイケなかったりするので確認が必要です。また、向こうは一限、二限とコマが設けられておらず、始まる時間と終わる時間が授業によって異なるので、その点も注意が必要だと思います。

3-2. 授業内容、方法に関して

雰囲気: 日本の授業と比べて生徒が積極的に質問や意見を授業内で言います。また先生から生徒の方に質問を投げかけてくることもしばしばあります。授業によってはクラスメイトとグループを組んで課題に取り組んだり、プレゼンテーションを課す授業も多いです。課題: 日本と比べて課題の量が非常に多いです。授業によって変わりますが、私が取っていた授業の一つでは毎週提出しなければならない課題があったり、殆どの授業で試験が2つ~4つあります。また予習として教科書や文献のリーディングも課されています。学期中の週末は基本は夕方までは課題に取り組んで夜に友人と遊ぶことが多かったです。ただ、一つ一つの課題がその時点での成績に反映されるため、今自分がどの程度の点数を取っているのかを把握しながら授業や課題に取り組むことが出来ます。

3-3. 語学力について

留学前に英語の勉強は一応していましたが、やはり最初は厳しかったです。特に問題であったのはスピーキングです。授業の内容などはどうにか理解することが出来たのですが、授業中に発言したりグループでの課題などに貢献することは最初の学期は殆ど出来ませんでした。10ヶ月を通して私が感じたのは、語学力は急にはではなく徐々に伸びていったということです。3ヶ月が経って急に全てが分かるようになったという感覚はあまり無かったですが、留学開始と留学を終えた現在の語学力の差は明確に感じます。また反省点、且つアドバイスとしては授業の課題が多いため、英語自体の勉強や訓練(特にスピーキング)に時間を割くことがどうしても難しくなると思うので、そこを意識して留学生活を送る必要があるかなと思います。例えば空き時間や食事の時間はなるべく現地の友人や留学生と交流するようにするなどです。

3-4. 図書館など学内施設について

アメリカの大学は基本的に施設は充実しています。図書館も24時間空いていますし、ジムなども学生なら無料で使うことが出来ます(正確にいうと施設維持費を払わされているので無料ではないですが…)。勉強するときは図書館をよく利用していましたし、ジムにも通うようにして健康に気を遣いました。

3-5. その他

特になし

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

キャンパス内にある学生寮で生活していました。部屋には3人のスイートメイト(ベッドルームは別だがバスルームを共有する同居人)がいて、私のベッドルームはシングルでした。キッチンが部屋についてなかったため食事は基本的に寮内のカフェテリアでとりました。キッチンがないのは正直大変でしたが、ベッドルームがシングルでプライベートが確保出来たのは良かったと思います。他の日本人留学生の中ではベッドルームを共有しているルームメイトとのトラブルで部屋を移った人もいたので、個人的にはベッドルームはシングルで良かったと思います。

4-2. 食生活について

脂っこいものが多いのは確かですが、カフェテリアなどではサラダなども充実しているためそれ程困ることはなかったです。向こうでの食生活を楽しんでいました。ただやはり留学前よりも5キロ体重が増えたので、体重が増えやすい方などは気を付けた方がいいかもしれません。やはりキッチンが無いと自分でヘルシーなものを作って食べたりということが難しいため、可能ならキッチンのある部屋に住むことをオススメします。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

住んでいた寮(Sandburg)は一階と三階のみwifiの利用が可能で、友人から譲ってもらったwifiルーターを部屋に設置して使っていました。携帯電話はソフトバンクのアメリカ放題というサービスを利用していたので、日本の携帯を基本的に使っていましたが、友人からもらったプリペイド式の携帯電話も途中から利用していました。

4-4. 服装について

ミルウォーキーは冬の気温が最低で-20℃まで下がることもあるため、日本から厚いダウンジャケットを持って行って着ていました。ただ服に関しては買える場所がたくさんあるので現地で調達することも十分可能です。スノーブーツは現地で購入したのですが、実際に履いたのは一回きりでしたので、本格的に雪が降ってから必要かどうか見極めるべきだったと反省しています。

4-5. 健康管理について

幸いにも留学中に病気になることは一度もありませんでした。特に意識していたことはなかったですが、食事をしっかりと摂って適度に運動をする、ストレスを溜めすぎないようにすることが大切だと思います。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

特になし

4-7. 課外活動について

留学先の日本語学科が企画したイベント等のお手伝いをしていました。数ヶ月に一度あるそうしたイベントで交換留学先である千葉大学の紹介をしたり、ミルウォーキーで開かれたアニメイベントのお手伝いもしました。また授業の一環ですが、留学期間終了後にニューヨークで一ヶ月間の国連、国際機関に関する夏季セミナーに参加しました。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学外のコミュニティとの交流は基本的に友人の家族が多かったかなと感じます。アメリカの休日(サンクスギビング、クリスマス、聖パトリックデイなど)の際には自宅に招待して下さり、食事をご馳走になりました。現地の方がどんな生活をしているのかを知る機会になりました。

4-9. 日本から持参してよかったもの

お土産用のお菓子など(特に抹茶チョコなどが喜んでもらえました)。スーツ一式(ボストンキャリアフォーラムなどの就活イベントに参加する予定の方は必須だと思います)。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

インスタントの味噌汁を持って行きましたがキッチンがないこともあり、殆ど使いませんでした。加えて、これは人によるかもしれませんが、持参したデジタルカメラが不要でした。旅行ではよく使っていたのですが、留学は基本的に旅行ではなく日々の生活がメインになるので毎日カメラを持ち歩くことをしなかったからだと思います。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

まず一番最初に気づいたことはアメリカの方(中西部の方と言った方が正しいかもしれませんが)は全体的に親しみやすさがあるということです。例えば向こうに着いて最初の頃ですが、エレベーターに乗り合わせた見ず知らずの人に挨拶されて驚くなんてこともありました。あとはすれ違う人に軽く微笑むことであたり、議論をよくすることも日本にはない習慣かなと思います。最初のうちはどう反応すればよいか分からないこともありますが、慣れれば特に問題ないのかなと思います。また、英語での挨拶の仕方というのが簡単なようで慣れるまでに時間がかかりました。こう言われたらこう返す、という決まった組み合わせがあるのでそうしたものは覚えたほうが対人関係がよりスムーズになると思います。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

【ボストン(キャリアフォーラム参加のため)】2015年11月(4日間)約12万円

・【ニューヨーク(観光)】2015年12月~2016年1月(7日間)約10万円

・【トロント&ラスベガス(観光)】2016年1月(10日間)約12万円

・【ミネアポリス(TOEIC受験のため)】2016年4月(3日間)約2万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

友人たちとバーに出かけることが気分転換になっていました。

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

ウイスコンシン州の州立大学の一つ。州都であるミルウォーキーにあるため、キャンパスの近くは発展しておりダウンタウンへのアクセスも良い。ミシガン湖へも徒歩で行くことができ、自然も感じることができる。25000人以上の生徒が在籍しており、14の学部、180以上の学位プログラムが用意されている。また、約80の国からの留学生を受け入れている。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

授業で課される課題の量が多いため、平日と日曜日は基本的に課題に取り組んでいました。特に課題が重なった週や試験期間などは殆ど勉強に時間を取られてしまうので辛いこともありましたが、その分授業での学びも大きくやりがいは常にあったと思います。最初の一、二ヶ月は単位が取れるか不安で仕方なかったですが、最終的にはすべての単位を非常に良い成績で取ることができました。また、日本では得ることが出来ないであろう貴重な経験も積むことができました。特に留学先のプログラムで、一ヶ月間ニューヨークの国連本部でのセミナーに参加できたことはかけがえのない経験になりました。学業以外でも充実した生活を送ることができました。時間のある夜に友人たちとバーに飲みに出かけたり、ハウスパーティーに参加したりしました。お酒の楽しみ方一つとっても日本とアメリカでは色々な違いがあり、常に新しい発見がありました。また、日本語学科のイベントを通じてアメリカ人の友人ができた。他国からの留学生では韓国人やフランス人と仲良くなりました。時間のある週末にシカゴに出かけたり、長期休暇を利用してトロントやラスベガスに旅行に行ったことも良い思い出です。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

まず私は4年の夏からの交換留学であったため卒業年度が1年遅れてしまいました。勿論それに関して不安なことはありましたが、今は1年遅れても交換留学という経験ができて良かったと思っています。交換留学を通して色々なことを学び、異文化での適応能力、語学力、バイタリティ、ストレス耐性など多くの力を得ることができたからです。留学希望者の皆さんはそれぞれ資金や卒業単位数、語学力など壁があるかもしれませんが、しかし心の奥に「留学がしたい!」という想いがあるなら、諦めないでチャレンジし続けて下さい。

そしてもし交換留学の機会を得られたら、苦しいことも沢山待っています(笑)。想像していた通りには行かないこともあると思いますが、そうした苦しさ乗り越え続けると最後に自分の成長に気付くと思いますので頑張ってください。適度なりフレッシュも忘れずに!

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

留学を終えて得たものは沢山あると思います。まず語学力に関して、大きな成果を得られました。勿論ネイティブのように自分の言いたいことを100%伝えることはまだ難しいですし、正直伸びしろもまだまだあると思います。しかし留学前の自分とは比べものにならない程の力は得ることができたと思います。何より以前抱えていた英語に対するコンプレックスを解消できたことで大きな自信につながりました。また、アメリカでの文化に揉まれたことで自分の意見を発信する(それ以前に自分の意見、考えをしっかりと持つ)姿勢が身に付いたかなと思います。これは将来グローバルに活躍していくためには必要で且つ日本人には欠けている部分かなと思うのでこれからも磨きをかけていきたいです。最後に、留学を通して勉強に対する意欲も強く持つようになりました。アメリカ人の大学生活の中で勉学にウェイトを置く姿勢には惹かれましたし、こうした環境にもう少し身を置いてみたいと現在は考えています。卒業後は一般企業に就職しますが、機会があれば海外の大学院進学なども考えていきたいと思っています。

お疲れ様でした